

パラリンピックの最前線から



1998 長野大会

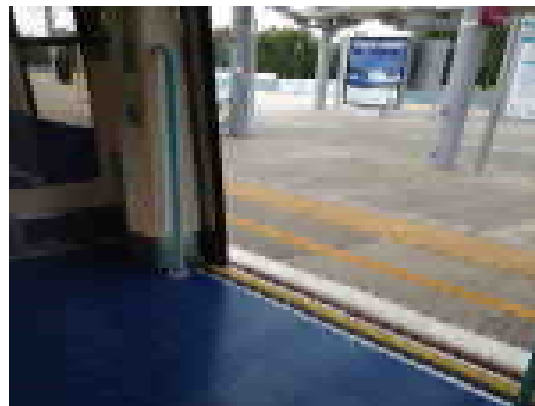
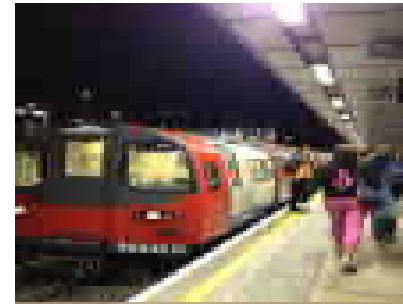
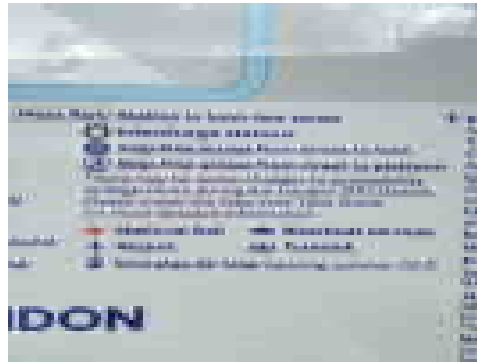


新田佳浩 バンクーバー大会に続き、平昌大会でも金メダル



1996年 中学生だった新田をスカウト

2012 ロンドン大会



地下鉄の路線図に車椅子マークで誰でもが分かりやすく

2021 東京大会

鉄道駅のプラットフォームと鉄道車両の間の段差・隙間の解消が進む

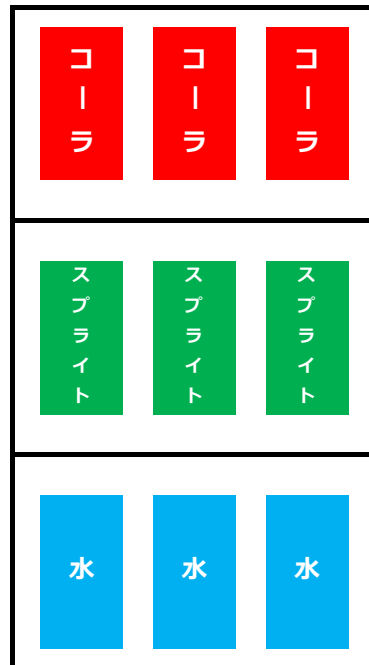
段差が3cm以内、隙間が7cm以内ならば、手動の車いす利用者の9割が自力で乗降可能であることが、国交省の実証実験で確認されている

このため、国交省は2019年8月、全国の鉄道各社に対し、段差3cm、隙間7cmを目指すべき数値として公表した

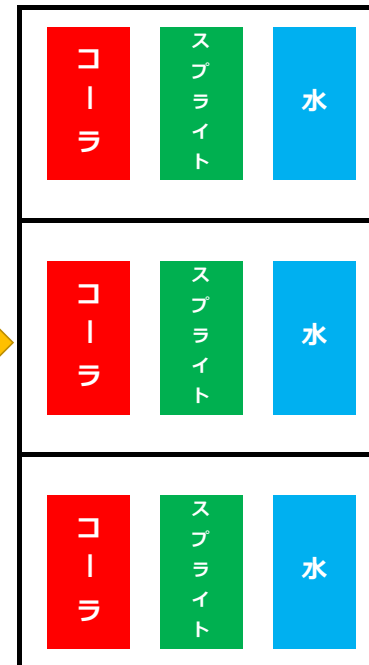


2021 東京大会

オリンピック期間



パラリンピック期間



オリンピックからパラリンピックへ
並び変えられました



2021
東京大会



ブラインドサッカー、日本チームのコーナーキック



ゴールボール、日本対ブラジル戦

2006
トリノ大会



パラリンピックもスタンドは満員になる

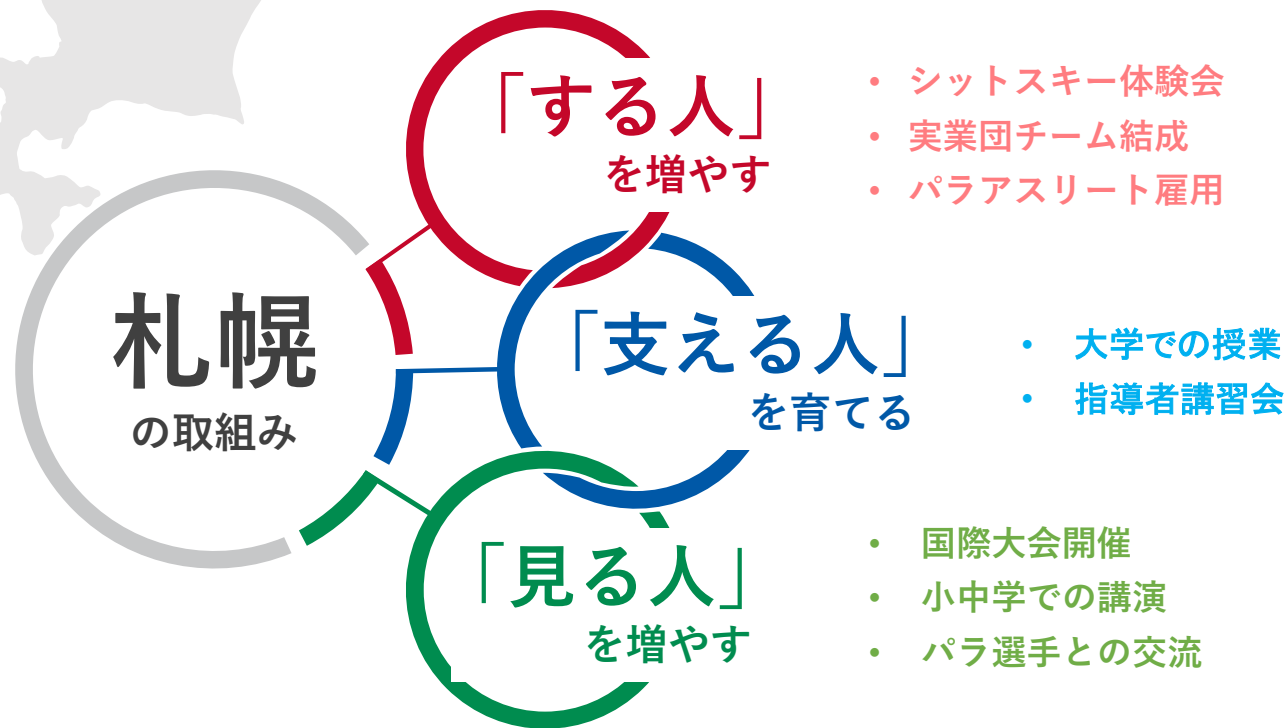
2018 平昌大会



チケットは完売だが、観客が少ないスタンド、理由は明らかだった

2030に向けて

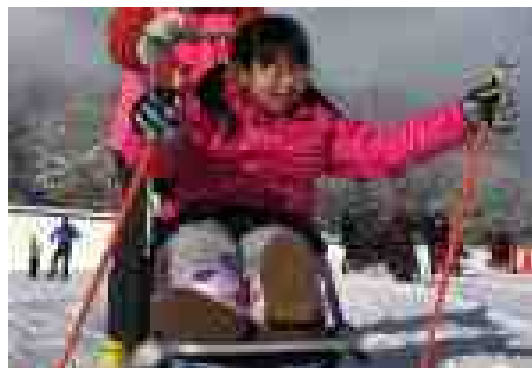
北海道 札幌でパラスポーツを盛んにする



2030に向けて



「する人」を増やす取組み



札幌市主催のシットスキー体験会



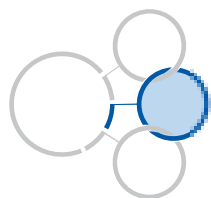
2018年、北海道で初の実業団パラスキーチームの発足



JPC パラリンピック代表選手をめざす発掘事業始まる



2030に向けて



「支える人」を育てる取組み

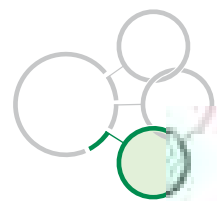


全国で初めてシットスキー指導者・サポーター育成講座を開始
(札幌市主催 2018年～)



札幌市内の大学でパラリンピック概論授業始まる

2030に向けて



「見る人」を増やす取組み



2015 旭川、2017、2019 札幌、2年毎にW杯大会を開催
パラ選手と市民・子供達との交流、ボランティア育成

2030札幌大会に向けた取り組みが、
全ての人にやさしいまちが生まれます



最後に